

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
佐世保市役所周辺地区

平成24年3月

長崎県佐世保市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来街市民の満足度	%	19.6	35.0	85.7	確定 見込み ●	○	あり なし	69.7	H23年8月	○	評価値は、事業中の評価であり完成後のイメージによる期待値が大きかったと推測される。 理由 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	歩道の歩きやすさの改善、中央保健福祉センターの整備による市民サービス向上などが、来街市民の満足度の向上に繋がった。
指標2	当地区の歩行者数	人/日	1,437	2,000	1,757	確定 見込み ●	△	あり ● なし	2,047	H23年11月	○	評価値は、事業中に調査したため、低い数値になったと考えられる。 理由 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	他地区からのアクセス改善による回遊性向上とともに、市役所周辺への保健、福祉、医療の機能集約による利便性向上が歩行者数の増加に繋がった。
指標3	路上駐車車両台数	台	35	0	0	確定 見込み ●	○	あり なし	0	H23年3月	○	理由 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	駐車場の集約と駐車台数を80台増加させたことなどにより、市役所来庁者の駐車場利用可能台数が確保され、路上駐車車両の削減に繋がった。
指標4						確定 見込み						理由 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み						理由 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	来街市民の不満軽減率	%	0.0	/	74.5	確定 見込み ●	/	/	59.0	H23年8月	/	評価値は、事業中の評価であり完成後のイメージによる期待値が大きかったと推測される。 理由 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	地区内の課題解決への取り組みにより、路上駐車改善、バリアフリー化を図ったことなどが、来街市民の不満軽減率の向上に繋がった。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	理由 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	理由 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	商業、行政、福祉、医療等の各都市サービスの充実	保健・福祉・医療に係る公開講座、市民講座等を、中央保健福祉センターで開催した。	開催場所の確保が容易になったことで、講座等の開催が増加し、市民サービスの向上に繋がった。	市民のニーズに合致した講座等を継続的に開催する。
	安全・快適な歩行者空間の創出	市民団体による国道沿いの植栽帯やプランターへの花苗の植え付け及び清掃活動が実施された。	花苗の植え付けや清掃による快適な歩行空間が創出されるとともに、市民参加による活動が広がることにより、道路美化の機運の醸成が図られた。	市民の協力が必要不可欠であるため、引き続き市民団体への呼びかけ等、効果的なPRが必要である。
	ゆとりある空間の創出と利活用	木場田公園について、地元町内会による公園愛護会の結成により、日常的な維持管理(清掃、除草、施設点検等)が行われた。	環境美化の推進及び適正な維持管理が実施されたことにより、ゆとりある空間が保たれている。	公園愛護会に対し、支援を継続する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	商業の活性化	市民の定住・交流の場として、住宅・商業・医療・福祉等の施設を整備する栄・常盤地区市街地再開発事業を促進している。	栄・常盤地区市街地再開発事業は、現在事業を継続中であるが、事業完成による商業の活性化が期待できる。	市街地再開発事業による公共交流施設等の整備により、官公庁街との回遊性が向上され、当該地区の商業の活性化が見込まれることから、事業を促進する。
	駐車場への右折入庫及び歩道乗り上げ駐車防止	市役所本庁舎に進入しようとする車を高砂駐車場に誘導するためのサインや駐車場に右折入庫しないよう促すサインを整備した。出入庫で混雑が発生した際には、警備員の誘導により対応している。	駐車場供用開始時に比べ、スムーズに出入庫されている。駐車場への右折入庫による渋滞もほとんど見受けられない。	市役所本庁舎、中央保健福祉センター周辺の市道には、歩道に乗り上げるなどの違法駐車はほとんど見られなくなった。
	賑わいの創出	市民の定住・交流の場として、住宅・商業・医療・福祉等の施設を整備する栄・常盤地区市街地再開発事業を促進している。	栄・常盤地区市街地再開発事業は、現在事業を継続中であるが、事業完成により当該地区への人の流入が期待できる。	市街地再開発事業による公共交流施設等の整備により、官公庁街との回遊性が向上され、当該地区の賑わいの創出が見込まれることから、事業を促進する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
駐車場内におけるより分かりやすい案内誘導の表示及び駐車待ち路上駐車の抑制	来街者から不満が多い駐車場内の案内表示の改善と、駐車場回転率向上のための駐車料金の事前精算機の導入を実施する。	平成24年度	平成23年度に実施した案内誘導の改善の効果を検証し、より効果的な案内表示について検討する。案内及び料金精算方法の改善による駐車利用者の流動の円滑化は、駐車場回転率の向上に繋がりが、駐車待ちの路上駐車の抑制が期待される。